

令和8年度宇宙関係予算案について

令和8年1月
防衛省

防衛省の宇宙関係予算について

- 経済・社会活動にとって不可欠な**宇宙空間の安全かつ安定した利用等を確保**するため、**宇宙の安全保障の分野での対応能力を強化**することが必要。
- この観点から、「防衛力整備計画」に基づき**宇宙領域における能力強化**を進めてきているところ。
- 令和8年度予算案においては、衛星通信網の整備等として契約ベースで**約1,740億円**、歳出ベースで**約2,183億円**を計上。
- 令和7年度補正予算に、宇宙関連施設の整備等として歳出ベースで約30億円、契約ベースで約1億円を計上。

1 衛星通信網の整備

- **次期防衛通信衛星等の整備**【契約ベース約882億円、歳出ベース約208億円】
現在、運用中の防衛通信衛星(きらめき1号)の後継機の製造に着手するとともに、令和7年度から製造を開始するきらめき2号後継機の打上げに向けて、地上器材等を整備。
※次期防衛通信衛星はPATSに対応予定
- **多国間の衛星通信帯域共有枠組み(P A T S*)対応器材等の整備**【契約ベース約87億円、歳出ベース約12億円】
P A T Sへの参加に合わせ、これに接続可能かつ次期防衛通信衛星に対応した衛星通信器材を整備。
※P A T S : Protected Anti-Jam Tactical SATCOM
- **商用低軌道衛星通信器材等の整備**【契約ベース約11億円、歳出ベース約10億円】
所要の衛星通信帯域を確保するため、水上艦艇において業務用通信の補完として利用する商用低軌道衛星通信に必要な器材等の装備及び利用。

防衛省の宇宙関連予算について

2 宇宙領域を活用した情報収集能力等の強化

- 次世代防衛技術実証衛星の開発【契約ベース約69億円、歳出ベース約24億円】
衛星ミッション機器の高機能化に対応した熱制御技術や光通信などの次世代衛星に必要な技術の実証のための衛星を開発
- 画像解析用データの取得【契約ベース約242億円、歳出ベース約241億円】
周辺地域の情報収集のため、高解像度を有する民間衛星等による画像を取得

3 宇宙領域把握(SDA)の強化

- 衛星妨害状況把握装置の整備【契約ベース約11億円】
我が国の人工衛星に対する電磁妨害状況を把握する装置を取得



衛星妨害状況把握装置

令和7年度補正予算

- 宇宙関連施設の整備【歳出ベース約30億円】
- 衛星通信の利用【契約ベース約1億円、歳出ベース約1億円】